

秋田県設計VEニュース

Vol.14 H21. 3. 13

◆ 北秋田で設計VE成果・提案報告会を開催しました。

1月27日、北秋田地域振興局を会場に、今年度のアドバイザー業務として実施した国道道路改築事業（滝ノ沢工区）と、県単砂防事業（福田地区）の設計VE成果・提案報告会を開催しました。報告会には北秋田建設部の小田建設部長をはじめ、企画道路課、河川砂防課、用地課などから多くの職員の参加がありました。また、お隣の鹿角建設部からも参加があるなど、設計VEの浸透が感じられました。

今回報告のあった両事業のVE提案とメンバーからの感想については〔Vol.13〕に掲載してありますので、そちらをご覧ください。

報告提案を受けた小田建設部長からは、『当建設部事業のために貴重な時間を使って検討して頂いた結果、今回の素晴らしい提案に繋がったと理解している。VEメンバーの皆さんに感謝し、できるだけ提案が反映できるように検討していきたい。』との講評がありました。

また、H18～H20の本県VE導入期に3年間VEアドバイザーを務めて頂いた横田尚哉氏（パシフィックコンサルタンツ㈱）からは、3年間を総括してお話して頂きました。

『VEが公共事業の価値向上に有効な手法であることは、今では広く認識され、全国の発注機関の多くが導入、または導入を検討している状況となっておりますが、秋田県がVEの導入を始めたころは、「VEって何？」と言われてしまうような時でした。まずVEの基礎研修を行い、VEの基本的な知識を身につけてもらうことから始めました。今ではそれを活用して多くのVEを実践し、成果が得られるようになってきました。私も5件のワークショップのリーダーを行いながら、アドバイスさせて頂きました。秋田県におけるVEは確実に浸透してきたと思っています。これまでの導入期におけるVEは「余分なもの」と感じながらの実践だったかもしれませんが、これからの定着期におけるVEは「通常業務と仕分けがつかないもの」になっていくと思っています。これからも機会あるごとに、お手伝いさせていただきます。』

横田氏には、今後も本県VE推進のために、ご指導頂くことになっています。



（田口技術管理監の挨拶）



（小田北秋田建設部長の講評）



（横田氏によるVE提案）

◆ VEサポート・コアメンバーの意見交換会を開催。

2月5日、第1回VEサポート・コアメンバーの意見交換会を開催しました。これは、これまでの設計VEの風土づくりの成果を検証し、課題を明確にして、解決方法を探る目的で開催したものです。

各発注機関が置かれている現状やVEの運営体制、事務局に対する要望など、活発な話し合いが行われました。

また、今後さらに増加する補修系事業や、課題が明確となっている工事などへも対応していくため、簡易VEと2時間VEの研修を行っていくこと、さらに、VEの成果を大きく左右するリーダーの重要性から、そのノウハウ習得を目的としたワークショップリーダー研修を来年度から取り入れることなどが話し合われました。

◆ 設計VE推進専門部会でH21の取り組み方針を承認。

3月12日、設計VE推進専門部会が行われました。この専門部会では、①H20の取り組み報告、②設計VE導入期3カ年を終えての実績と課題、③設計VEガイドラインの一部改定、④H21の取り組み方針とH21の部レベル（部局横断メンバー）設計VE実施対象業務の選定など、設計VE推進施策についての検討が行われ、VE研修、VE実践案件、意識啓発などH21の取り組み方針が承認されました。

《主な承認事項》

- ・ WSリーダー研修の実施
- ・ 市町村に対する出前講座の実施
- ・ 簡易VEの普及活動の実施
- ・ VEメンバーに対する成果・活動に対する評価アンケートの実施
- ・ 技術研究発表会において、優秀なVE活動の成果発表 など

報 告：秋田県建設交通部技術管理室 調整・技術マネジメント班